

EPOCとは インターネットを利用した研修評価・管理システム

背景

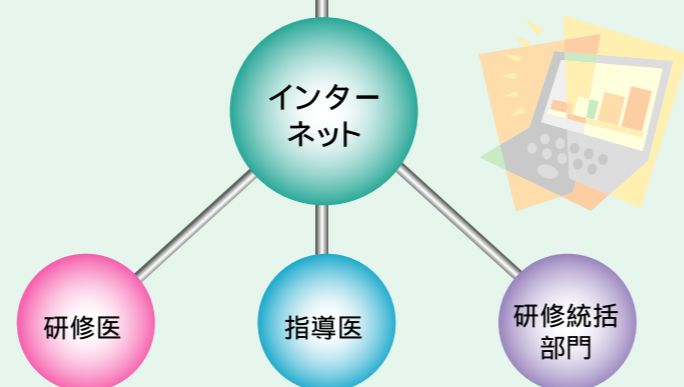
必修化により全国共通の研修目標が設定されている
 複数の診療科からなる研修が一般となる
 複数の病院・施設からなる研修が多くなる
 複数のプログラムに参加する病院施設が存在する
 研修医の評価が求められる(厚労省令158号17条)
 研修指定病院は第三者による評価を受け、その結果を公表する(同施行令)

全国共通の評価システムの必要性

国立大学医学部附属病院長会議の
 教育研修問題小委員会がEPOCを設計

データはUM Nのサーバーに保存(セキュリティにも配慮)
 ブラウザーのみでアクセスでき、特殊なソフトは不要
 協力病院・施設からもリアルタイムアクセス
 評価項目のカスタマイズが可能
 EPOC登録者はUM Nも利用可能

UM N大学病院医療情報ネットワーク
 (University Hospital Medical Information Network)



研修評価の例

研修評価履歴一覧の例

EPOCでできること

- 研修プログラムの管理
 - 病院 診療所など研修施設の登録
 - 研修ブロック、診療科 指導医の登録
 - 研修医の登録、研修プログラムの個人別設定
- 研修内容・指導 研修施設 プログラムの評価の入力と参照
 - 研修内容の管理と評価、レポート提出管理
 - 研修終了証 研修中断証発行の前提となる研修履歴の保存
 - 指導内容 施設評価の開示時期制限による研修医の自由な意見提出を保障
- 研修医・指導医相方向のメール機能、掲示板機能
- プログラム責任者による、アクセス制限の設定
- 研修評価に関する集積機能、CSV形式による出力(平成17年度対応予定)

評価項目

- 研修医評価 *厚生労働省施行令に準拠します
 - 行動目標
 - 患者医師関係・チーム医療・問題対応能力・安全管理 症例提示など
 - 経験目標
 - A 経験すべき診察法(12項目)・検査(20項目)・手技(20項目)
 - B 経験すべき症状(35項目)・病態・疾患(17項目+88疾患)
 - C 特定の医療現場の経験(救急・予防医学・緩和医療・精神保健など)
- 指導評価
 - 指導のしかた、医療水準 研修医 患者への配慮など
- 研修環境評価
 - 福利厚生、経験症例手技の数・種類 教育システム、カンファランスなど
- プログラム評価